



巻 頭

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構
放射光ナノテクセンター
センター長 籠島 靖

兵庫県ビームラインの Figure 8 アンジュレータを光源とする BL24XU は、国立研究開発法人理化学研究所（理研）及び公益財団法人高輝度光科学研究センター（JASRI）と締結した同ビームライン設置契約書に基づく設置期限を、平成 29 年 11 月 13 日に迎えました。兵庫県は「兵庫県ビームライン(BL24XU) 利用状況等報告書・専用施設次期計画書」を提出し、同年 6 月 30 日に開催された専用施設審査委員会において、厳しい評価を受けました。

この審査結果に対応すべく、設置者の兵庫県、事業受託者の兵庫県立大学で協議を重ね、産業利用という設置目的は堅持しつつ、SPring-8 の環境変化に対応し、ビームラインにおけるアクティビティを高め、SPring-8 の発展に貢献するため、ビームラインの運用体制を抜本的に見直すとともに、成果創出の「見える化」の実現を目指すこととしました。

新年度から、兵庫県ビームラインは新しい運営体制となります。新たに兵庫県放射光利用戦略会議とアドバイザリーボードを設置し、戦略的なビームライン運営を目指します。産業利用支援と産学連携の二つを柱として運営し、放射光を活用するマテリアルズ・インフォマティクスや先端計測技術を活用した産業利用を展開します。従来の利用形態に加えて、産業界をアカデミアが支援する形のコンソーシアム体制を構築し、産業利用ビームラインとしての成果創出を目指します。これまでご利用いただいているユーザーの皆様には、技術・事務手続き両面での利用のしやすさを損なわないよう十分に配慮いたします。

一方、国が平成 28 年度に創設した「地方創生拠点整備交付金」に対して兵庫県が提案した「放射光を活用した次世代材料開発の社会実装拠点整備事業」が採択され、BL24XU の高度化予算が確保されました。これにより、①液体窒素冷却の分光器の導入と②実験装置・測定システムの自動測定システム導入によるハイスループット化等を図ることとなり、今年度ハード整備を実施いたしました。BL24XU は生まれ変わり、より優れた成果の創出を目指した活動を開始します。

新しい運営体制のもとで成果創出の見える化の実現を目指したいと思いますので、今後とも関係機関の皆様の更なるご指導・ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。